学校番号	110

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術表現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術の基礎である色彩や表現技法について学び、主にデザイン作品に取り組みます。
・多様な表現に触れることで自己の個性に合った表現技法を模索し、自己探求を深めることを目標とします。
・自他の作品を鑑賞し合評することで他者の感性や表現に触れ、自他の違いやそれぞれの美しさを素直に認め味わう心を養うことや、達成感を味わい、美術を愛好する心情を育てることをめざします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美術に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中のデザインや美術文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
・色彩や透視図法などの表現技法、版画の技法や立体作品制作の技法について学習し理解を深める。鑑賞等によって様々な表現方法に触れて理解するとともに、意図に応じて創意工夫し、表現できるようにする。
・社会や生活の中で生かされるデザインの役割を多角的に考え、多彩な表現を通して色や形に意味をもたせ、 魅力的な視覚伝達へと展開していくことが出来る。
・主体的に創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、伝統と文化に親しみ、美術を通して心豊かな生活や社会を創造していく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・色彩の基礎や多様な表現技法について幅広く理解している。 ・創造的でより洗練されたデザインの表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて創意工夫して表現している。	・自分なりに制作のイメージをまとめて計画を立て、造形的なよさや美しさを考えた主題を生成し、創造的に表現できるようにする。	・人にとってより良いデザインについて考える中で試行錯誤しながら体験や経験を重ね、美術の創造的な表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・他者の作品のよさや美しさを素直に認められる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	色彩と色の効果	・色彩の基礎知識と 日常生活において色の効果について学ぶ。 タイルのデザイン ・一つのパターンを制作し、連続して配置することで新たに生まれる文様のリズムを理解し、デザインする。 ・相互鑑賞	a：色の持つイメージや感じ方、効果を理解し、効果的な表現方法を工夫している。 b：色の特性を踏まえて、目的をもとに主題を生成し、視覚的要素を工夫して構想を練っている。 c：目的をもとに色の特性を生かして表現し、デザインすることに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	ワーク シート 授業観察 作品	ワーク シート 授業観察 作品	ワーク シート 授業観察 作品
	ランプシェード制作	立体作品制作 ・色々なランプシェードの画像を鑑賞し、伝統的な工芸品に触れるとともに灯りのデザインについて考え、自分なりの主題を生成する。 ・制作計画を立てて立体制作の見通しを持ち、伝統工芸で扱う和紙や籐を素材にして制作を行う。 ・相互鑑賞	a：籐や和紙、針金など扱う素材の特徴を理解している。また、道具を適切に扱って制作を行っている。 b：伝統工芸品のよさや美しさ、灯りの持つ意味やデザインについて自分なりに考え、主題を生成し、表現することができる。 c：色々な作品や技法に関心を持ち、主体的に制作に取り込もうとしている。また、制作を通して発見したことを自分の言葉で表現しようとしている。	ワーク シート 授業観察 作品	ワーク シート 授業観察 作品	ワーク シート 授業観察 作品
	ルームデザイン	理想の部屋をデザインする ・既製の部屋の形にとらわれず、自分の理想の部屋をデザインする。 ・部屋のテーマを設定し、自由に考え、色、大きさ、形、空間を意識して家具や壁面、床など統一感のある部屋を構成する。 ・様々な素材や材料などを工夫して、自由な発想でデザインする。 ・相互鑑賞	a：素材や材料、色彩の効果的な表現を理解し、工夫して丁寧に制作している。 b：自分で想定したテーマに合わせて必要な素材や材料などを考え、既製の製品や日常にある空間に捉われず、自由な発想で構想を練っている。 c：素材や材料など、表現したいデザインに基づいて必要なものを自分で決定し、主体的に制作しようとしている。	ワーク シート 授業観察 作品	ワーク シート 授業観察 作品	ワーク シート 授業観察 作品

後期	食品パッケージデザイン	食品パッケージデザイン考案 ・食品を入れる瓶、紙袋、箱を統一感のあるデザインにし、それぞれのラベルをデザインする。 ・文字をグラフィックの重要な要素と捉え、ロゴ、フォント、サイズ、レイアウトを構成しブランドを象徴するマークをデザインする。 ・相互鑑賞	a: レタリングと平面構成の基礎的な方法を理解して必要な道具を使いながら丁寧にデザインしている。 b: 選択したモチーフ（食品）の持つイメージを自分なりに解釈し、文字(レタリング)や形・色彩を工夫して表現の構想を練っている。 c:文字そのものがひとつの表現となることに関心を持ち、主体的に身近にあるデザインされた文字も調べ、自分だけの表現を目指そうとしている。	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品
	靴のデザイン	・理想の靴というイメージを膨らませて、デザインする。 ・自分の足型を使い、ダンボール素材で制作し、絵の具で彩色する。 ・相互鑑賞	a:ダンボールの素材や絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。角度や配置、陰影や構図の効果を捉え、表現することができる。 b: 素材の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 c: 主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品	ワークシート 授業観察 作品 振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度